

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

中京大学スポーツ

Vol.22
2020/12月号



東海を制し
全国大会へ

ショートトラック 全日本(距離別)1,000mで1、2位

ソフトボール女子 大学日本一

野球 山本一輝投手が巨人へ

学生制作アイスショー動画 YouTubeで公開

産官学連携スポーツコンソーシアム

屋内陸上120m走路が陸連公認施設に



安定した滑りを見せた吉永選手。W杯5,6戦の代表決める

中京大勢ワンツー

男子1000メートル

**吉永一貴選手1位
井上瑠汰選手2位**

によって無観客で開かれていた
が、同じ大学の現役生同士の
対戦に大会関係者らも熱い視
線を注いだ。

中京大勢がひと際輝いたのは
は大会第2日の男子1000メートル
だ。チャンピオンを決め
るA決勝は今大会最後のレー
スとして行われた。予選、準々
決勝、準決勝を通過したのは
5選手。中京大の両選手も積
極的なレース運びで危なげな
く決勝に進出。大会はコロナ禍

スタートは井上選手が先行
し、吉永選手も一番手につけて
先頭をうかがう。強豪ぞろいの
中で両選手が1、2番で周回
をリードしていく。やがて中
盤。吉永選手は満を持したよ
うに先頭に立つと、そのまま逃
げ切った。井上選手が続いて

ゴールを通過、中京
大勢がワンツー・フィ
ニッシュを決めた。
吉永選手は高校時
代に平昌五輪に出場
するなど実績を残し
てきた。ただ昨季は、
ワールドカップ(W
杯)全6戦の日本代
表には選ばれたとは
いえ、腰痛で自身とし
ては「不本意なシーズン
を送った」。今季は
夏場から好調を維
持。距離別では初日の1500
メートルも2位の好成績
を収めた。それでも「1500
メートルは勝ち切らなければいけな
かったです」と悔しさをにじま
せた。



1000メートル1、2着の吉永(右)、井上選手

シヨートトラック全日本距離別選手権
シヨートトラックスピードス
ケートの今季開幕戦、全日本
距離別選手権が10月初め、長
野県南牧村野辺山の帝産アイ
ススケートトレーニングセン
ターで2日間にわたって行わ
れ、中京大勢は期待に違わぬ
実力を發揮した。出場したの
は、男子の吉永一貴(スポーツツ
選手が昨年に続き、顔をそろ
えた。

北京五輪の活躍楽しみ

大会後のW杯代表選考会
では、大会日程の決まっている
第5、6戦の代表に吉永、平
井両選手が名を連ね、残る男
女各2選手は来年1月の日
本選手権後に発表される。
さらに2022年北京冬
季五輪が、来シーズンに迫っ
てきた。開会式は2月4日だ
から、東京五輪の半年後には、中京大勢の活躍が楽しみ
なワインタースポーツの祭典
が幕を開ける。

リーグ戦2連覇

愛知大学野球 通算41回目の優勝

秋季リーグ戦で昨秋に続いて2連覇、通算41回目の優勝を果たした。コロナ禍で春季リーグが開催中止となり、秋季も、球場への入場者を関係者に限る無観客試合として行われた。久々の公式戦で、半田卓也監

督は「選手一人ひとりの春から夏にかけての自己管理と意識を問われるリーグ戦になる」と選手に言い続けてきた。

初戦は愛知学院大と対戦、2勝1敗で勝ち点スタートを切つた。第2週は東海学園大に連勝し、愛知工業大と並んで



優勝が決まり、マウンドに駆け寄る選手たち

首位に立つ。しかし、第4週の名城大戦を1勝2敗で落とし、優勝を4チームが争う大混戦となつた。

そこで中京大は踏ん張つた。

続く第5週で単独首位の愛工大から勝ち点を奪い、最終週（第7週）に中部大に連勝すれば優勝のチャンスが残された。

そして連勝。9勝4敗勝ち点

巨人軍入り 山本一輝投手

プロに向け「ケガしない体づくり」

「来年に向けてさらにパワーアップし、けがをしない体づくりに取り組みます」。プロ野球ドラフト会議で指名され、読売ジャイアンツに入りを決めた山本一輝投手（スポーツ科4年）はこう語つて胸を張つた。巨人軍からの指名後も中京大豊田キャンパスの球場に通い、汗を流す姿は後輩たちにも好影響を与えた。

2017年4月、愛知県立東郷高校から入学。半田監督と主にバッテリーを対象に指導している菊地啓太

コーチはすぐにストレートの質の高さに注目した。特に



巨人入団を決めた山本投手

山本投手は2試合にリリーフし好投した。「あれが自信になりました」という一つの節目だつた。ただ、けがにも遭つた。昨年冬も腰痛に悩まされた。

普段から「ウエートトレーニングをしてパ

ワーをつけよう」と菊地コーチから促されていた山本投手の気持ちにも火が着いた。コロナ禍で合同練習が制限された今春から夏にかけて「本当にやりました」と自信満々で振り返つた通り、その体つきを見た菊地コーチが思わず「でかくなつた」と声をかけた。そして秋季リーグ。野球人生を左右する実績を見事に残し、プロの世界に向かう。

「その球持ちの良さに惹かれた」のだ。「もしかしたらプロにも」と頭をよぎつた。

そして愛知大学野球春季リーグですぐに登板の機会を得た。2年の時、チームは全日本大学選手権に出場。

4とし、名城大を勝率で上回つた。もちろんチーム力の優勝だが、立役者は勝ち星（6勝）、防守率（0・63）ともにリーグ1位の山本一輝投手だつた。

粘り強く戦う

大学サッカー全国大会で結果を

今年度の大学サッカー全国大会は、新年1月6日から関東地区を舞台に開かれる。夏の

ムで、出場権を得た中京大は今、特例大会に向けて準備の真っただ中だ。

となり、冬のインカレに代わる
「インカレ+総理大臣杯」特例
大会の位置づけだ。出場チー
ムは例年のインカレより8
チーム多い32チーム。東海地区
からは東海リーグの上位3
チームともう1枠の計4チー

就任3年目の永富裕也監督は「3年間やつてきて選手個々の成長をすごく感じています」と目を細めた。リーグ戦を通して逆転勝ちや小差の逃げ切り勝利も目立ち、「粘り強さは今年の特長」とチーム力に手応えを感じている。3年生主将でデイ

得点をあげ、勝利に貢献した碓井 聖生選手(中央)

岸田悠佑選手（スポーツ科）は「関東のチーム」とどう戦うか。様々な想定しながら練習を重ねています」と表情を引き締めた。決定力のある久保藤次郎選手（スポーツ科3年）、ボランチの加田淳哉選手（同4年）、加藤弘也選手（同4年）らを中心とした戦いぶりに期待が高まる。



東海リーグ準優勝

コロナ禍でトーナメント方式に変更になつた東海学生リーグ戦決勝が11月15日にパロマ瑞穂ラグビー場で行われた。名城大学に延長戦の末0-16で敗れ、昨季に続く2年連続優勝を逃し、準優勝に終

今季、コロナ禍で十分な練習ができない中、社会人チームとオンラインセッションを実施するなど、外部とのつながりによってチームを強化してきた。畠山大輝ヘッドコーチは、「選手たちがこの状況下でも目線を高く保ち続けることができた」と来季に期待を膨らませる。



オプションプレーで走るクオーターバック(中央)

走り高跳び優勝

蛭子屋雄一選手

らその記録を破りたかつた」。一気に25に上げた。その1回目、「やつたあ」と思ったジャンプは降り際にかかとがわずかにバー

A young man with dark hair, wearing a bright yellow zip-up hoodie, stands outdoors. He is smiling and flexing his right bicep towards the camera. The background features a white building with large, arched windows.

走り高跳びで優勝の蛭子屋選手

陸上競技の第89回日本学生対校選手権(インカレ)は9月11～13日、新潟デンカビッグスワンスタジアムで行われた。総合成績は男女とも9位で辛くもベスト10入りを果たした。そんな中、唯一の優勝を飾ったのは

成功、続く2ドル15はバス、ふたりの勝負となつた2ドル18も1回目にクリアし、たつた二度の跳躍で勝利を決めた。

学院2年のハンマー投げの古旗崇裕選手が2位に、女子では1万メートル競歩で立見真央選手（スポーツ科3年）、矢来舞香選手（同4年）が2、3位に、ハンマー投げの藤本咲良選手（同4年）が3位入賞した。

総合女子4位、男子6位

競泳インカレ 来季のシード権保持

競泳の第96回インカレは10月1～4日、東京辰巳国際水泳場で行われ、総合成績男子6位、女子4位で来季のシード権を保持した。大会を振り返った佐々木祐一郎監督は、主将の北山晃河選手（スポーツ科4年）の名を真っ先に挙げ、「本当に気持ちのこもった泳ぎを見せて精神的にも部を引っ張つた」と称えた。



400mリレーメンバー。左から2人目が北山主将

仲間たちに推されて主将を務めた北山選手だが、「最初は自信もなくて（主将を）やりたくないかった。ただ、コロナ禍に遭つたことで、インカレに集中し、みんなで盛り上げたいと思った」と言い、50mと100m自由形、400mフリートとメドレーリレーの4種目に挑んだ。

結果は全種目に入賞を果たし、自由形2種目では2年ぶりに自己ベストを更新。「ポイントでも少しは貢献できました」と笑顔を見せた。さらに200m個人メドレーでチームただ一人の優勝者となつた松本周也選手（同2年）の名前を挙げ、「いやあ、松本はレベルが違います。来年はさらに期待できますよ」と東京五輪への期待を口にした。

仲間たちに推されて主将を務めた北山選手だが、「最初は自信もなくて（主将を）やりたくないかった。ただ、コロナ禍に遭つたことで、インカレに集中し、みんなで盛り上げたいと思った」と言い、50mと100m自由形、400mフリートとメドレーリレーの4種目に挑んだ。

結果は全種目に入賞を果たし、自由形2種目では2年ぶりに自己ベストを更新。「ポイントでも少しは貢献できました」と笑顔を見せた。さらに200m個人メドレーでチームただ一人の優勝者となつた松本周也選手（同2年）の名前を挙げ、「いやあ、松本はレベルが違います。来年はさらに期待できますよ」と東京五輪への期待を口にした。

Chukyo's Coach

アメリカンフットボール部 畠山大輝ヘッドコーチ



体を張った指導をする畠山コーチ

学生とともに実践

指導する上で、「学生一人ひとりが主体性を持つて行動できるよう、一緒に向き合う」ことを最重要視している。そのため意見を言い出やすい環境を作る工夫

スポーツは社会の縮図

スポーツは、最高のコンディションを整えても、天候や相手チームの戦術などに左右される。自分の力ではどうにもできない状況に直面することもあり、社会の縮図とも言える。困難な状況に対応しながらシーザンを戦い抜いた経験は、社会に出た時の強みになる。

昨年度は、チームの主軸である4年生の自主性を、特に重んじる取り組みをした。「型を押し付けることなく、学生たち自らが創意工夫

をし、一方的な指導にならないようにしている。一つひとつに戦術で学生から提案があれば、ともに実践する。一緒に、良い点や悪い点を検証できるからだ。タックルの練習では、口頭に加えて体を張った指導を行う。人によって解釈が違わないよう、実際にやって見せることが重要だと思う。

（スポーツ科3年・生田璃音）

に導くことがベスト」。それが実を結び、8年ぶりに東海学生春季リーグで優勝（19回目）することができた。「引っぱつてもらうのではなく、自分でエンジンを回していく成長しない」。自主性について、社会人チームで得た経験でもある。



最優秀選手に選ばれた西川投手の投球

中京大学ソフトボール部女子が、全日本大学女子選抜ソフトボール大会（11月9～13日、安城）決勝で、インカレ連覇中の日本体育大学を6対0で破り、7年ぶりに大学日本一となつた。同大会はインカレの代替大会。

機動力、打撃力のあるチームで、大会4試合の平均得点は7点を記録した。二瓶雄樹監督は「強みの攻撃面で、十分に実力が発揮できた。また、試合を重ねるごとに守備力も上がり、バランスのとれたチームへと成長した」と振り返る。最優秀選手には、3試合に先発した西川沙希

ボランティア活動も
ソフツワナ共和国ではボランティア活動にも取り組んでいます。本学とJICAの連携事業で、2018年2月から計3回、ボツワナに渡り、約1か月間のソフトボール指導をしてきました。

参加した小川由貴奈マネージャー（スポーツ科4年）は「楽しくて、プレーする現地の人たちの姿に、初心を思い出した」と語った。

男子II写真下IIは準決勝で延長戦の末、大同大を下し、決勝は名城大に対し、前半に

中京大学ソフトボール部女子が、全日本大学女子選抜ソフトボール大会（11月9～13日、安城）決勝で、インカレ連

覇中の日本体育大学を6対0で破り、7年ぶりに大学日本一となつた。同大会はインカレの代替大会。

ボランティア活動も
ソフツワナ共和国ではボランティ

ア活動にも取り組んでいます。本学とJICAの連携事業で、2018年2月から計3回、ボツワナに渡り、約1か月間のソフトボール指導をしてきました。

参加した小川由貴奈マネージャー（スポーツ科4年）は「楽しくて、プレーする現地の人たちの姿に、初心を思い出した」と語った。

ハンドボール 東海学生選手権 アベック優勝飾る

7年ぶりに大学日本一 ソフトボール女子全日本大学選抜



大学日本一に輝き、マウンドに駆け寄る選手たち

投手（スポーツ科3年）が選ばれた。
インカレ34年連続出場と実力のあるチームだが、2011年の優勝以降はベスト8止まり。再び全国制覇を目指すにあたり、「人に希望を与えるプレー」をスローガンに全員で取り組んだ。主将の安山涼香選手（経営4年）は「予選も含め、何度も厳しい状況があつたが、みんな諦めず、前を向いて、輝いた表情でプレーできただ」と笑顔で語った。



ハンドボールの東海学生選手権大会（東海インカレ）が10月24～11月8日、愛知県内で行われ、中京大は男女アベック優勝した。東海学生リーグ、全日本学生選手権がコロナ禍により中止となつたことから、東海学生チャンピオンを決めるために企画され、男子24チーム、女子11チームがトーナメント方式で競い合つた。

男子II写真下IIは準決勝で張つてくれました。自主トレ期間中もチームをまとめ、その成果が表れました」と称えた。

全日本選手権で雪辱へ

フィギュアスケートNHK杯



山本選手のスケーティング(中部選手権で)

フィギュアスケートのグランプリ(GP)シリーズ最終戦、NHK杯国際競技大会が11月27～29日、大阪府門真市の東和薬品ラクタブドームで行われた。GPシリーズは国際大会だが、コロナ禍のため、今季の出場は地元選手と練習拠点を置く選手に限られた。中京大からは男子シングルに山本草太選手(スポーツ科3年)、女子シングルに横井ゆは菜(ス

ポーツ科3年)、荒木菜那(同1年)両選手が出場したが、表彰台には届かなかった。

山本選手は10月末、京都で行われた西日本選手権を制覇し、今月24日に長野・ビッグハットで開幕する全日本選手権への出場権を獲得し、今大会を「さらに弾みにしたい」としていた。しかし、力が入りすぎたのか、ジャンプの転倒などが響き、初日のショートプログラム

SP5位につけた横井選手は惜しくもFSSで順位を落とし8位、荒木選手は11位だった。

また、大会には中京大中京高校から女子シングルに松生理乃、山下真瑚の2選手も出場。松生選手は3位入賞で表彰台へ、山下選手も5位と健闘した。

(SP)を9位と出遅れ、第2日のフリースケーティング(FS)に追い上げを期したもの8位に止まった。

スケート部員 アイスショー動画を制作 ドローン撮影で迫力映像

「SNSや知り合いから『見たことのない角度』『表情まではっきり見えてスゴイ』『ステップなど個性が際立つ』などの声が届き、また、マスコミから取材が入るなど、予想以上の反響」と、谷口美菜スケート部主将(国際教養4年)は話す。

スケート部員有志で企画、制作、出演したアイスショー動画が、10月17日からYouTubeチャンネルで公開されている。マイクロドローンを使い、選手から近い距離で、そして様々な角度から撮影するという試みで、臨場感溢れる映像に仕上がっている。3分20秒の動画は、迫力と変化で飽きさせない工夫があり、一方で、あたたかい感じで魅了する部分もある。

チャレンジ奨励金プロジェクトに採択

会場に来られない人たちにも見てもらい、フィギュアの魅力を伝えたいとの思いから企画。社会活動にチャレンジする学生たちを後押しする本学『チャレンジ奨励金プロジェクト』に応募し、採択された。

企画を担当した新宅璃子さん(国際英語4年)は、「ア



YouTubeで公開されているアイスショー動画

イスショーをマイクロドローンで撮影すること自体がチャレンジ。映像制作関係者のバックアップも受け、学びながら作り上げた」と話す。

部員たちからは、「フィギュアスケートのPR、そして競技へのモチベーションとチームワークに繋がった」と笑みがこぼれていた。



YouTubeはコチラ

地域スポーツの推進、活性化

地域スポーツの推進、活性化



サッカー部向けの動画制作をする学生たち



スポーツコンソーシアム

地域スポーツの推進、活性化を目的に、産官学の共同事業体「地域スポーツ好循環コンソーシアム」(通称スポーツコンソーシアム)が、4月に発足した。

豊田市、トヨタ自動車、中京大学の主要3機関と、豊田市スポーツ協会、豊田市地域スポーツクラブ会議で構成され、①スポーツ活動に参加できる

本学は、大学が持つ資源（施設、人材、知見）を活用し、子ども向けの体力づくり教室や親子ダンス教室、高齢者対象の体力再生教室などで連携している。

また、事務局としての役割もあり、各種提案や各団体の調整役など、積極的な運営を目指している。

本学体育会とスポーツ振興部は、豊田市スポーツ協会の依頼を受け、中学校の部活動向けトレーニング動画を制作した。サッカー、野球、柔道、卓球、ソフトボールの5競技と、体幹トレーニング、ウォーミングアップの計7種類が、12月か

中学校向け動画制作

全体練習、個人トレーニング用

本学体育会とスポーツ振興

部は、豊田市スポーツ協会の依頼を受け、中学校の部活動向

けトレーニング動画を制作し

た。サッカー、野球、柔道、卓球、ソフトボールの5競技と、体幹トレーニング、ウォーミング

アップの計7種類が、12月か

ら順次、配信される。
中学校へのアンケート調査の結果、中京大学体育会制作のトレーニング動画を8割以上が希望したことから実施が決定。動画は教員、生徒とともに視聴でき、部活動のメニュー作成や練習計画、生徒の個人ト

「校部活指導」に協力している。陸上、バスケットボール部などの学生が20校以上の中学校に出向き、生徒たちの部活動指導を行っている。今年度は、コロナ禍の影響で直接、指導ができないため、動画により支援することとなった。

の大見卓司さんは「選手それぞれ、調子や動きの悪い部位がある。ケガをしないように、効率的な練習ができるように、ウォーミングアップの時から考え、身体のコンディショニングを整えるように」と選手たちを指導している。

中学生ラガーチームを指導する

豊田スポーツアカデミー



ケガを隠すテープィングをするアスリートベックトナー(左)

地域の中学生を中心

に、本格的なラグビー練習の場として始まった豊田スポーツアカデミー。豊田市が会場の手配を、トヨタ自動車ラグビーチームのコーチとOB選手が練習指導を、本学スティックトレーナーがボーッ振興部のアスレティックアッピング指導ウォーミングアップ指導とケアを担当している。登録選手は愛知県を中心とする59人。

次代担うユースの発掘、育成

あいちトップアスリートアカデミーに協力

2026年、愛知県で開かれるアジア競技大会を見据え、活躍できる地元選手の発掘、育成をする事業「あいちユース選考会」が11月1日、豊田キャンパスで実施された。今、取り組んでいる競技からの転向を、意欲的に検討して



長座位ハンドボール投げの測定に臨む選手

同ユース選考は、愛知県のスポーツ推進事業の一つで、本学は昨年に続き、測定業務が委託された。測定を担当したスポーツ科学部の稻葉泰嗣助手は、「実力が發揮される」と気配りを欠かさない。また、「今、取り組んでいる競技から転向することは勇気がいる。でも自分の新たな可能性を見出せるチャンスだから、今戦してもらいたい」と話している。

今回の募集競技は、水泳(飛び込み)、水球(女子)、ボート、ビーチバレー、ボール、レスリング、ラグビー(女子)、アーチェリー、トライアスロン。それぞれの競技団体スタッフが競技への適性を確認する中で、測定(垂直跳び、20㍍シャトルラン、メディシンボール投げなど7種目)が行われた。

競技転向で

新たな可能性を

市役所、科学館等へ出張展示

中京大学スポーツミュージアム

「中京大学スポーツミュージアム」は、より多くの人たちにスポーツ文化に触れてもらおうと、公共施設や博物館などで出張展示をしている。今年度は、豊田市役所、JOC日本オリンピックミュージアム、さいたま青少年宇宙科学館で収蔵品が展示された。

1964年東京オリンピック関連グッズ、オリンピック・パラリンピックのマスコット、近代オリンピックを提唱したケーベルタンの切手など、一つ一つが時代や歴史を語りかけてくる品々である。

スポーツミュージアムの木村吉次館長は「現代社会においてスポーツが果たしている役割、スポーツの持つ価値について考える機会にしていただければ幸い」と話している。

資格科目の実習にも活用

スポーツミュージアムは学生の教育の場として、学芸員の資格科目「文化人類学実習」の実習先として活用されている。10月の授業では、本学OBでスポーツ庁長官に就任した室伏広治氏からの寄贈品を展示した。

できるよう、参加者の緊張をほぐしてあげることも重要な業務」と気配りを欠かさない。また、「今、取り組んでいる競技から転向することは勇気がいる。でも自分の新たな可能性を見出せるチャンスだから、今戦してもらいたい」と話している。



豊田市役所の玄関ホールでの出張展示

現代社会学部3年の田代千尋さんは、「春学期に、オリンピアン同士のつながりやエピソード、人柄などを調査。展示内容、方法を検討する際の材料とした」と、岡田さくらさんはミュージアムの見どころについて、「オリンピックは平和の祭典。ミュージアムは、スポーツとともに女性問題や環境問題など人類の問題もテーマになっているので、注目してほしい」と語った。

屋内120メートル走路完成

日本陸連の公認（日本で2施設目）



4レーン、ゴムチップウレタン製の屋内走路

して認定された。屋内の常設陸上施設としては、鹿児島県のジャパンアスリートトレーニングセンター大隅に次いで、日本で2例目の日本陸連公認施設となりた。今後、公式競技会の開催が可能となり、屋内日本記録として、100m、60m、50m、100メートルハードルなど天候に左右されず、安定した環境で練習ができるため、注目を集めている屋内陸上走路。本学豊田キャンパスに8月4日、120メートル直線の屋内陸上走路が完成した。11月28日、日本陸上競技連盟の審査を受け、公認施設とも備えている。

が認定される。

走路は、ゴムチップウレタン

製で、コースは4レーン。固定用カメラが設置されている。競技を行う際に必要な判定用スペース、観客用スペースなど

安定した環境強み

屋内の120メートル走路は、雨天時やグラウンドコンディションの悪い時を中心に、スポーツ科学部の授業（実技科目）やクラブ活動で活用される。また、安定した環境の下で各種測定ができるため、研究

への利用とその成果にも期待がかかる。

屋内走路に隣接して、屋内の人工芝グラウンド（28メートル×18メートル）も新たに設置された。豊田キャンパスには、3年前に完成した体育館内に50メートル走路もあり、屋内走路が2施設、屋内グラウンドが1施設になった

ことで、学生たちの利便性が飛躍的に向上した。

陸上競技部の青戸慎司副部



足部の傷害を評価する様子

ハビリテーション、良いコンディションの作り方についての相談、実践指導が主な活動だ。平日の午後5時から8時まで開室されている。

ハビリテーション、良いコンディションの作り方についての相談、実践指導が主な活動だ。平日の午後5時から8時まで開室されている。

豊田キャンパスのフィットネスプラザ2階にリコンディショニングルームが誕生したのは2015年4月。体育会所属の競技選手やスポーツ科学部の学生たちを対象に、身体のさまざまな悩みに対応して、相談に乗ったり、対応をする場所だ。

現在のスタッフは倉持梨恵子准教授をはじめ、クリニカルインストラクター8人と、学部生として4年間、アスレティックトレーナーについて学んだ大学院生5人で、スポーツによるケガに関する相談やり

ケガからの復帰サポート

リコンディショニングルーム

ハビリテーション、良いコンディションの作り方についての相談、実践指導が主な活動だ。平日の午後5時から8時まで開室されている。

ハビリテーション、良いコンディションの作り方についての相談、実践指導が主な活動だ。平日の午後5時から8時まで開室されている。

ハビリテーション、良いコンディションの作り方についての相談、実践指導が主な活動だ。平日の午後5時から8時まで開室されている。

ハビリテーション、良いコンディションの作り方についての相談、実践指導が主な活動だ。平日の午後5時から8時まで開室されている。

ハビリテーション、良いコンディションの作り方についての相談、実践指導が主な活動だ。平日の午後5時から8時まで開室されている。

ハビリテーション、良いコンディションの作り方についての相談、実践指導が主な活動だ。平日の午後5時から8時まで開室されている。

リレーでアベック優勝

全国高校陸上競技大会



東海大会で優勝した新チームの選手たち

春の選抜大会有力に

高校野球秋季東海大会で優勝

高校野球秋季大会の東海地区大会決勝が10月31日に行われ、中京大中京高校が県岐阜商に7対6でサヨナラ勝ちし、2年連続の優勝を果たした。これにより、来春の選抜高校野球大会への出場が有力になった。

「この新チームは、一度の敗戦を機に選手が自分の役割を考えるようになつた。その後は、試合を重ねることに組織力が高まつた」と高橋源一郎監督は語った。

硬式野球部の高橋宏斗投手が中日ドラゴンズに、中山礼都内野手が読売ジャイアンツに入団することを決め、プロ野球での

全国高等学校陸上競技大会(10月16・18日、横浜)に出場した中京大中京高校陸上部が、400メートリーレー(4×100メートル)でアベック優勝を果たした。男子は1600メートリーレー(4×400メートル)でも優勝し、リレー競技4種目のうち、3

種目を制覇した。

記録は、男子400メートリーレーが40秒33(香山勇輝、館野峻輝、鈴木大河、河田航典)、女子400メートリーレーが45秒96(岸本優花、倉橋美穂、須崎心優、藏重みう)、男子1600メートリーレーが3分8秒85(桂木大和、鈴木大河、高橋遼将、稻川彗)



400メートリーレーでアベック優勝したメンバー

800メートル7位

日本陸上選手権

青山理奈選手

青山理奈選手は日本陸上競技選手権(10月1~3日、新潟)女子800メートルに出席、決勝に進出し、2分9秒08のタイムで7位に入賞した。予選では2分8秒53の自己ベストを出した。

水泳部の神野ゆめ選手が、

同大会へは河田航典選手が男子100メートル、倉橋美穂選手が女子200メートルに出席したが、決勝進出はならなかつた。

短水路の日本選手権(10月17、18日、東京)女子50メートル自由形で18日、東京)女子50メートル自由形で自己ベストを0秒64更新する24秒73の記録で優勝した。

50メートル自由形優勝

短水路の日本選手権

神野ゆめ選手

では長所になつた」と話す神野選手。水泳選手の中で身長が低いため、スタートとターンの技術や瞬発力を磨いてきた。



ドラフト会議で指名を受け、ガツポンポーズの高橋投手(左)と中山内野手

プロ野球での活躍誓う

高橋宏斗投手

(中日1位指名)

中山礼都内野手

(巨人3位指名)

活躍を誓つた。

高橋投手は、最速15

4キロの右腕で、高校生ナンバーワンピッチャーと高い評価を得ている。中山内野手は、走攻守の三拍子

が揃つた遊撃手として、活躍が期待されている。チームメートとして公式戦28連勝をけん引した二人が、プロ野球の舞台で対決する日が待ち焦がれる。



2021年4月、
新・スポーツ科学部始動!



入学定員490名 → 740名に増員!

New スポーツマネジメント学科

New トレーナー学科

スポーツ健康科学科 | スポーツ教育学科 | 競技スポーツ科学科

※2021年4月設置。/内容は予定であり変更となる場合があります。

お問い合わせ先…入試センター 〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2 TEL.052-835-7170 <電話受付時間> 平日9:00~17:00

挑戦する大学



発行／中京大学 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2
【広報部】TEL 052-835-7135 【スポーツ振興部】TEL 0565-46-6935